

学校再編準備委員会(第3回通学・安全部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年9月30日(月) 午後7時から午後8時35分まで

■ 開催場所 天名公民館 多目的ホール

■ 出席者 【委員】 7人(1人欠席)

【教育委員会事務局】 4人

参事兼教育政策課長

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ (2人)

■ 傍聴者 1人

■ 事項

1 開会(教育政策課長挨拶)

2 「新たな小学校」開校に向けたスクールバスの運行について

(1)これまでの取組経緯について【資料1】

(2)運行ルート図(案)について【資料2-1、2-2】

(3)各ルートにおける乗降場所の考え方について【資料3】

→資料に基づき説明。その後、小学校区別で質疑応答及び意見交換。

≪質疑応答、意見交換≫

【合川小学校区】

○赤ルート【乗降場所(案):徳居町集会所】

(参加者)

- ・ 徳居町集会所から中勢バイパスの郡山ランプに向かう道は、狭いところがあることから、以前に要望書を出しており、令和7年度に測量すると聞いているため、状況を確認してほしい。

○黄ルート【乗降場所(案):合川公民館、北條バス停、長法寺バス停】

(参加者)

- ・ 小型バスであっても北條の集会所を乗降場所とするのは難しいか。
- ・ 北條の集会所の北側の道が拡幅される予定がある。

(教育委員会事務局)

- ・ 鈴鹿警察署から、小型バスであっても、進入道路の道幅が狭く、集会所付近での旋回も厳しいという意見をもらっている。

(参加者)

- ・ 最も遠い長法寺の児童の家から長法寺のバス停までどれぐらいの距離があるのか。
- ・ 長法寺の旧農協前は、小型バスであれば乗降場所として問題ないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 最も遠い長法寺の児童の家から長法寺のバス停までの距離は、約630メートルである。
- ・ 長法寺の旧農協前は、小型バスは通行可能であるが、対向ができない。

(参加者)

- ・ 例えば、北條、長法寺、御園西という小型バスでのルートや、合川公民館、徳居町集会所という中型バスでのルートも考えられるのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 中型バスが徳居町集会所で日常的に転回するのは難しいと考えており、また、中勢バイパス郡山ランプへ向かう道の通行も難しいと考えている。
- ・ 各地域の児童数の状況によっては、ルートの見直しや、中型バスから小型バスへの変更を行う可能性はある。

(参加者)

- ・ 北條のバス停付近には横断歩道がない。

(教育委員会事務局)

- ・ 既に鈴鹿警察署には相談しているが、北條のバス停付近に横断歩道を設ける場合は、原則、横断歩道間の間隔が200メートル以上必要となるため、周辺の横断歩道の有無を踏まえる必要がある。

【天名小学校区】

○緑ルート【乗降場所(案):横知、徳田ふれあい会館】

(参加者)

- ・ 徳田ふれあい会館のバス停車候補位置の西に、ごみの集積所があり、地元住民がごみ出しを行う時間帯と登校時刻が重なってくる。
- ・ 徳田ふれあい会館の乗降場所を利用する児童の居住地域は、徳田ふれあい会館よりも東側が多いことも踏まえると、乗降場所は磯山バイパスの取り付け道路の東側が良いのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 関係機関に意見を聴取の上、取り付け道路の東側での乗降車の可否について、検討する。

(参加者)

- ・ 磯山バイパスの取り付け道路の開通時期によっては、令和8年度の途中や令和9年度から乗降場所、乗降ルートの変更はあり得るのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 取り付け道路の開通時期は、令和8年4月以降になる見込みと聞いており、開通後、児童の安全がより確保できる乗降場所、乗降ルートがあるのであれば、鈴鹿警察署からの意見聴取や交通事業者との調整が必要になると考えているため、乗降場所等が変更となる可能性はある。
- ・ 変更時は、保護者や地域住民への周知期間を確保する必要があると考えている。

(参加者)

- ・ 三田ノ木は、県道沿いに児童の安全が確保できる場所がなく、集落から東に抜けていく道路は狭いため、乗降場所が設置できないのは理解できる。
- ・ 磯山バイパス開通後、バスの乗降場所に適したスペースがあれば乗降場所を設置してもらえるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 鈴鹿市スクールバス運行基準、鈴鹿警察署や交通事業者からの意見、他の小学校区との公平性やバスの効率性等を踏まえ、総合的に判断することになると考えている。

○青ルート【乗降場所(案):JA 鈴鹿天名支店】

(参加者)

- ・ スクールバスが天名小学校の進入路から中勢バイパス御園ランプへ向かうために左折する際、反対車線にまでふくらんでしまい、危険であるとのことであるが、進入路の幅を拡幅する方法もあるのではないかな。
- ・ 進入路の東側にある側溝に蓋をすることや、西側の学級園を整備するなどバスが乗り入れられるようにできないかな。
- ・ 県道の反対車線との間にあるゼブラゾーンを広げることとはできないかな。

(教育委員会事務局)

- ・ 関係機関に意見を聴取の上、コスト面も踏まえ、検討する。

(参加者)

- ・ JA 鈴鹿天名支店を乗降場所とした場合、横断歩道を渡ることになるため、危険ではないかな。

(教育委員会事務局)

- ・ 市内の小学校では、教職員や保護者、地域の見守りボランティアの協力の下、横断歩道を渡って通学している児童がいる。なお、横断歩道を渡る際の安全性の確保については、保護者や地域の方に協力いただき、対応していきたいと考えている。
- ・ 乗降場所は、鈴鹿警察署からの意見を踏まえ、天名小学校を断念して、JA 鈴鹿天名支店としている。

○赤ルート【乗降場所(案):御園西】

(参加者)

- ・ 御園西の乗降場所に向かう道路の白線を引き直すよう準備していくとのことであるが、その際、白線上に車線分離標(オレンジ色のラバーポール)も併せて設置できないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 関係機関に意見を聴取の上、設置が可能であれば検討する。

3 次回の会議について

- ・第4回通学・安全部会の開催日は、後日、日程調整を行う。

4 閉会

以上